

農業市場学研究室案内 2016年後期

2016/11/10

1 教員の講義担当

	氏名	講義名	対象学年
教授	野見山敏雄	生産学原論 (分担) 生市場学 (分担) 生農業論 (分担) 生現業マケテイング論 食農マケテイング論 農村社会調査 (分担) 食料システム (分担) 食料代農産物 (分担) 食料関連産業 (分担)	1年 (前期) 3年 (前期) 3年 (後期) 修士1年 (前期)
助教	空席	総合演習 (分担) 実習 (分担) 実習 (分担) 実習 (分担) 実習 (分担) 実習 (分担) 実習 (分担)	3年 (前期) 3年 (後期) 2年 (後期) 3年 (後期) 修士1年 (前期)

2 教員および院生・学生の研究テーマ

教授	野見山敏雄	1,産地の市場対応と産地形成 2,産直流通の展開課題
助教		
博士課程	趙 哲	農産物直売所における安全・安心の確保に関する研究
修士課程	加藤百合子	飼料用米に関する研究
2年生	黒澤麻利江	生協産直に関する研究
1年生	其方格爾 廣部 渉 彭 鏡儒	食品の安全性に関する研究 米の流通に関する研究 CSAに関する研究
研究生	細川 貴央	日本農産物とFBI戦略に関する研究
	秀仁娜	日本における青果物物流の課題に関する研究
4年生	内山 誠 土居 芳晃 英 真央 依田 舜	米粉の普及と課題に関する研究 日本酒の生産と流通に関する研究 狭山茶のブランドマネジメントの現状と課題
3年生	小野田 奈生 岸 誠人 豊倉 幹人	新規就農* 農産物直売所* 地力維持* *問題関心事項

3 学部卒業生および大学院修了生の進路 (末尾の数字は卒業・修了年度)

学部卒業生	大学院修士課程修了生
<ul style="list-style-type: none"> ・本学大学院農学研究科-16, 15, 13×2... ・(独)勤労退職金共済機構-16 ・日本コンロシステム(株)-16 ・(株)やまびこ-15 ・住商フーズ(株)-15 ・草津ナウリゾートホテル-15 ・(株)極洋-14 ・経済産業省-14 ・三井化学アグロ(株)-14 ・日本貿易振興機構(JETRO)-12 ・農林水産省-09 ・赤城乳業(株)-09 ・中国留学(中国人民大学)-08 ・(株)味の素-08 ・厚生労働省-07 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都庁(行政)-16 ・日本甜菜製糖(株)-16 ・エスビー食品(株)-15 ・アリアケジャパン(株)-15 ・(株)イーサポートリンク-15 ・(株)システムエグゼ-15 ・(株)吉野家ホールディングス-15 ・本学大学院連合農学研究科-14, 09, 03, 98, 97 ・日本生活協同組合-14 ・(株)ロイヤリティマーケティング-14 ・(株)コスモネット-13 ・(株)グレイス-12 ・月島食品工業(株)-11 ・韓国・農村振興庁-10 ・(社)全国農業共済協会-07

4 最近の卒論及び修論のテーマ (・=卒論, ◇=修論)

- ・都市近郊農村における移住・定住推進策の検討ー千葉県いすみ市を事例にー-15
- ・行政との協働によるフードバンク活動についてーNPOフードバンク山梨を事例にしてー-15
- ・米価低迷下における農協産直の現状および課題ーJA庄内みどりと生活クラブ生協連合会ー-15
- ・製粉企業による国内産小麦使用拡大に向けての課題-15
- ・地産地消の学校給食における地場農産物供給コーディネータの役割と課題-14
- ・薪の生産・販売動向と今後の展望-14
- ・食品安全における食品防御の必要性-14
- ・地域連携による大豆作の生産振興に関する研究-13
- ・非農家出身者の新規就農における農業法人の役割について-13
- ・国内産小麦の需給動向に関する研究ー需要拡大の課題ー12
- ・日本産農林水産物・食品の輸出に関する研究ー根室産サマのベトナム向け輸出を事例としてー12
- ・エコフィードの現状と課題ー飼料化事業から考察した今後の食品リサイクルの展望ー12
- ◇系統農協組織を介した地域内連携と大豆産地の現状-15
- ◇新規就農者の現状と定着に向けた課題ー千葉県を事例にー-15
- ◇業務用キャベツにおける契約取引の実態と持続的取引に向けての課題-15
- ◇日本産水産物の輸出に関する研究-15
- ◇CSAの持続可能性に関する研究-15
- ◇国内産小麦における需給ミスマッチの現状と課題-14
- ◇地方自治体主導による家庭系生ごみリサイクル事業の特徴とごみ処理体系の解明-14
- ◇農産物直売所における食品の安全・安心性の確保に関する研究-14
- ◇生協産直の物流に関する研究-13